

世界に誇る信州の農村景観育成事業

1 現状と課題

信州の景観要素の一つとして、豊かな農村景観があり、そこに暮らす地域住民はもとより、県内外からの来訪者にとっても、心癒される原風景となっている。

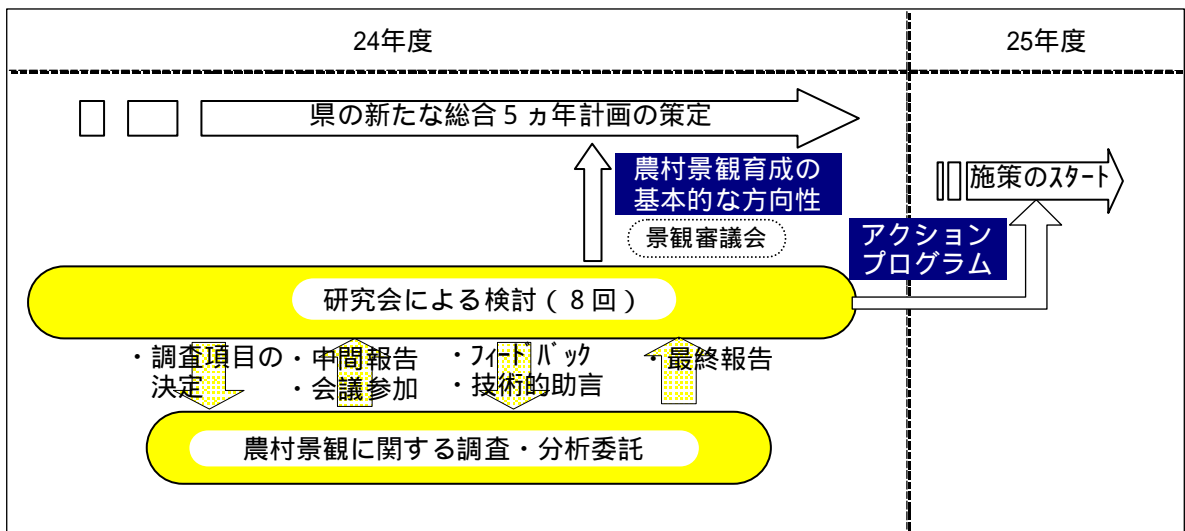
一方で、各地域の景観に違いがある中で、「豊かで美しい農村景観」の具体的な概念が共有されていない現状があり、また過疎化・高齢化が進み、農業・農村の活力の低下が懸念される。

このような中で、信州の豊かで美しい農村景観を保全・育成するには、農業、林業、観光等の各分野の事業間の連携が重要であり、そのためには県全体の目指すべき姿を示すことが必要である。

2 事業の目的

現在の県内の農村部の景観特性を調査・分析するとともに、専門家、関係者からなる研究会により目指すべき農村景観のあり方の検討を行い、基本的な育成方針等を策定し、世界に誇る信州の農村景観の保全・育成を図る。

3 事業の概要



(1) 研究会による検討内容

- ・農村景観育成の基本的な方向性（育成方針）について
- ・世界に誇る信州の農村景観育成に向けたアクションプログラム（景観協定等による景観の保全・育成、歴史や文化の保全・継承、景観に配慮した施設整備等の具体的な行動計画）の策定について

(2) 農村景観に関する調査・分析委託

研究会による検討の材料とするため、調査・分析を行う。